2026 科教協全国大会（近畿・羽曳が丘大会）
実行委員会ニュース No.1

2025. 7. 28発行

編集　事務局長　嵜本　格

2026 年全国大会は大阪･四天王寺大学で開催

来年度の科教協全国大会は、大阪の羽曳野にある四天王寺大学を会場として開催されることが決まりました。

7 月 22 日（火）に第 1 回実行委員会（Zoom 会議）がもたれ、四天王寺大学と近畿・岡山の会員 24 人が参加して大会の概要や課題について協議しました。

事務局から四天王寺大学での開催が決まるまでの経緯が報告され研究大会の枠組みや検討事項の提案がありました。

大会の日時と大きな枠組み

・大会の名称：科学教育研究協議会第 72 回全国研究大会（近畿・羽曳が丘大会）
・日時：2026 年 8 月 5 日（水）、6 日（木）、7 日（金）
・会場：四天王寺大学（大阪府羽曳野市学園前 5 丁目 1）近鉄藤井寺駅から近鉄バス 20 分
・主催　科学教育研究協議会　共催　四天王寺大学

・時程　9:00　9:30　12:00　13:00　15:30　16:00　17:30

8 月 4 日（火）			委員会～15:00		全国代表者会議	
8 月 5 日（水）		科学お楽しみ広場	はじめの全体会		講座 1	
8 月 6 日（木）		分科会 1	分科会 2		講座 2	
8 月 7 日（金）		分科会 3	終わりの全体会			

「近畿・羽曳が丘大会」をどんな大会にするか？

① 地球規模での環境危機や自然破壊・気候危機などの進行の中で「自然科学をすべての国民のものに」の重要性を再確認し、特に子どもたちが豊かな自然の中で育ち、自然科学を学ぶ楽しさを実感する実践や研究が発展することをめざします。

① 2010 年（兵庫大会）、2015 年（大阪大会）以来の近畿での全国大会であり、各府県の会員・サークル・支部が、いっそう元気に活動し、会員が増え、お互いの連携を強める契機として大会を開催します。

②科学教育に力を入れている四天王寺大学を会場にして、共催で開催することで、幅広いつながりや運動の広がりをもたらす大会とします。

実行委員会の構成と役割分担

１　近畿のすべての府県から多くの多彩な実行委員を組織して準備と運営を行ないます。

２　実行委員会は、おおむね毎月 1 回の Zoom での開催とします。また役割分担ごとの小委員会も開催します。

３　実行委員会事務局は、実行委員会を準備し、具体的な実務を進めていきます。

＊事務局メンバー　・実行委員長（S：四天王寺大、兵庫）・副実行委員長（N：大阪）

・事務局長（H：兵庫）・事務局次長（T：大阪）（I：四天王寺大）

・事務局員（Y：京都）（K：奈良）（T：京都）（M：大阪）

当面の検討課題

次のようなことが当面の検討すべき課題として提案されました。みなさんの提案やご意見をお寄せください。

１　「科学お楽しみ広場」の名称変更

２　大会のサブテーマ

３　はじめの全体会の構想

３　事務局と実行委員会の役割分担

第 2 回実行委員会の開催日時

8 月 20 日（水）　8:00～　Zoom 会議

＊問い合わせ先　　実行委員会事務局　651-2123 神戸市西区天王山 15-8

髣本　格　　E-mail itaruhasimo10@yahoo.co.jp